

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

2018年8月10日



(証券コード:7183)



あんしん保証株式会社
ANSHIN GUARANTOR SERVICE CO., LTD.



1

第1四半期決算概要

2

通期計画に対する進捗状況

3

各種指標

4

2019年3月期取り組み

1.第1四半期決算概要(1)

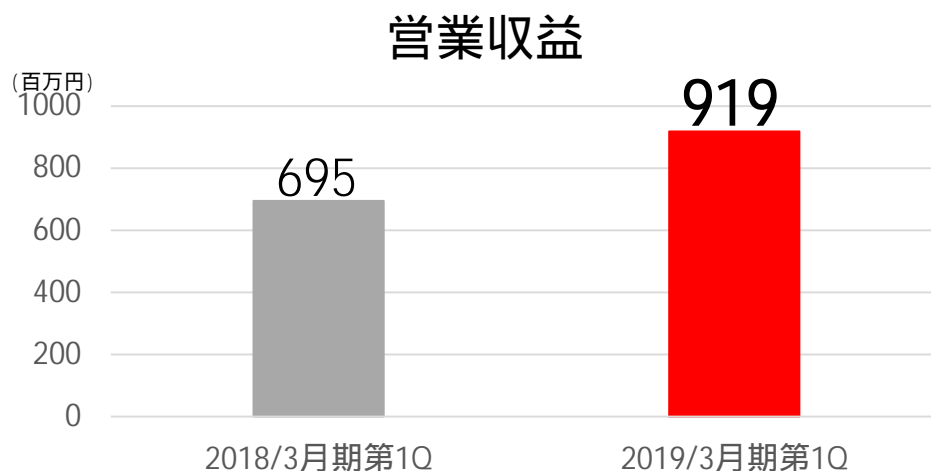


営業収益

9億19百万円

前年同期比 32.2%増 ↗

(+223百万円)

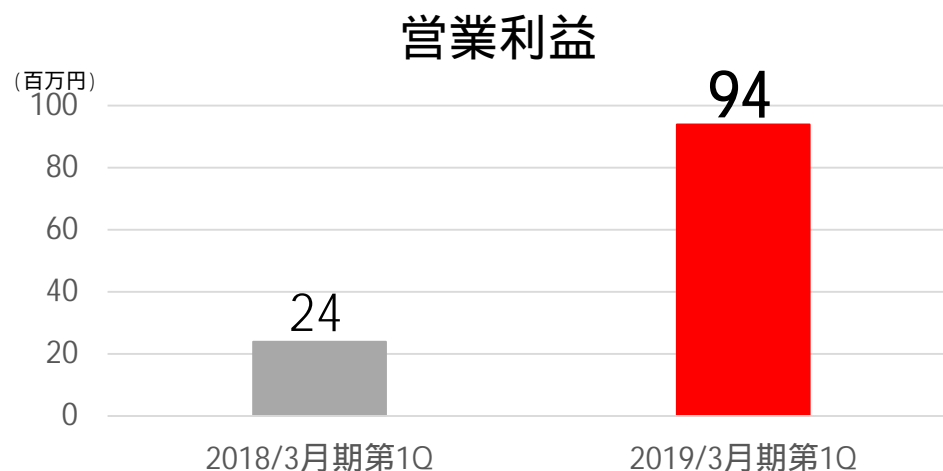


営業利益

94百万円

前年同期比 282.8%増 ↗

(+70百万円)



1.第1四半期決算概要(2)

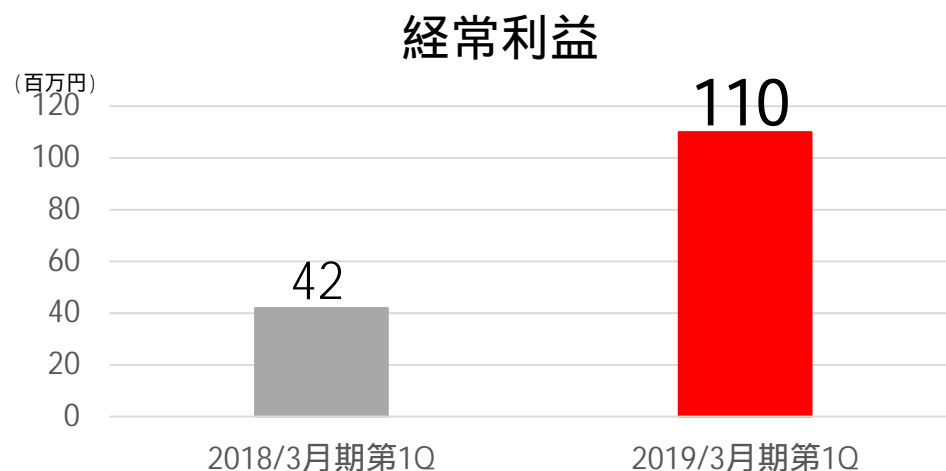


經常利益

110百万円

前年同期比 159.3%増 ↗

(+67百万円)

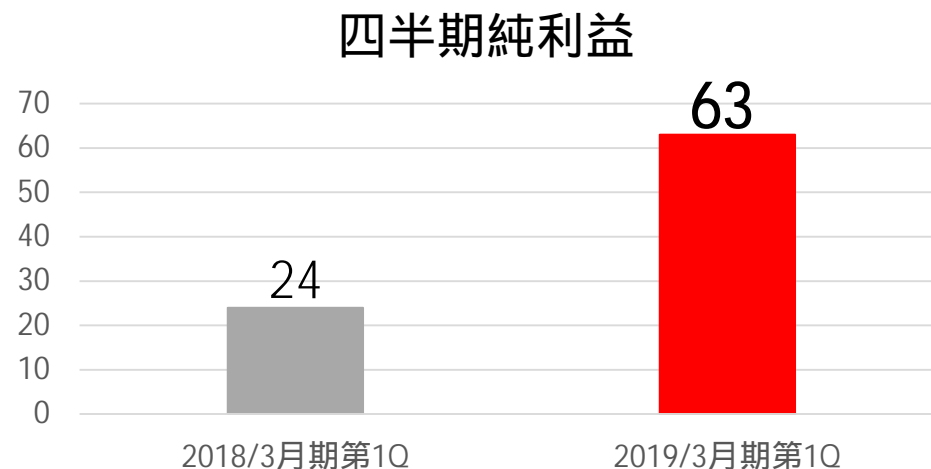


四半期純利益

63百万円

前年同期比 157.0%増 ↗

(+38百万円)



1.第1四半期決算概要(3)



単位 百万円	18/3月期 (1Q実績)	19/3月期 (1Q実績)	前年同期比 増減	前年同期比 増減率
営業収益 (売上高)	695	919	223	32.2%
営業利益	24	94	70	282.8%
経常利益	42	110	67	159.3%
四半期純利益	24	63	38	157.0%
1株当たり 四半期純利益	1.37円	3.53円	-	-

<< 第1四半期実績は対前年同期比で増収増益 >>

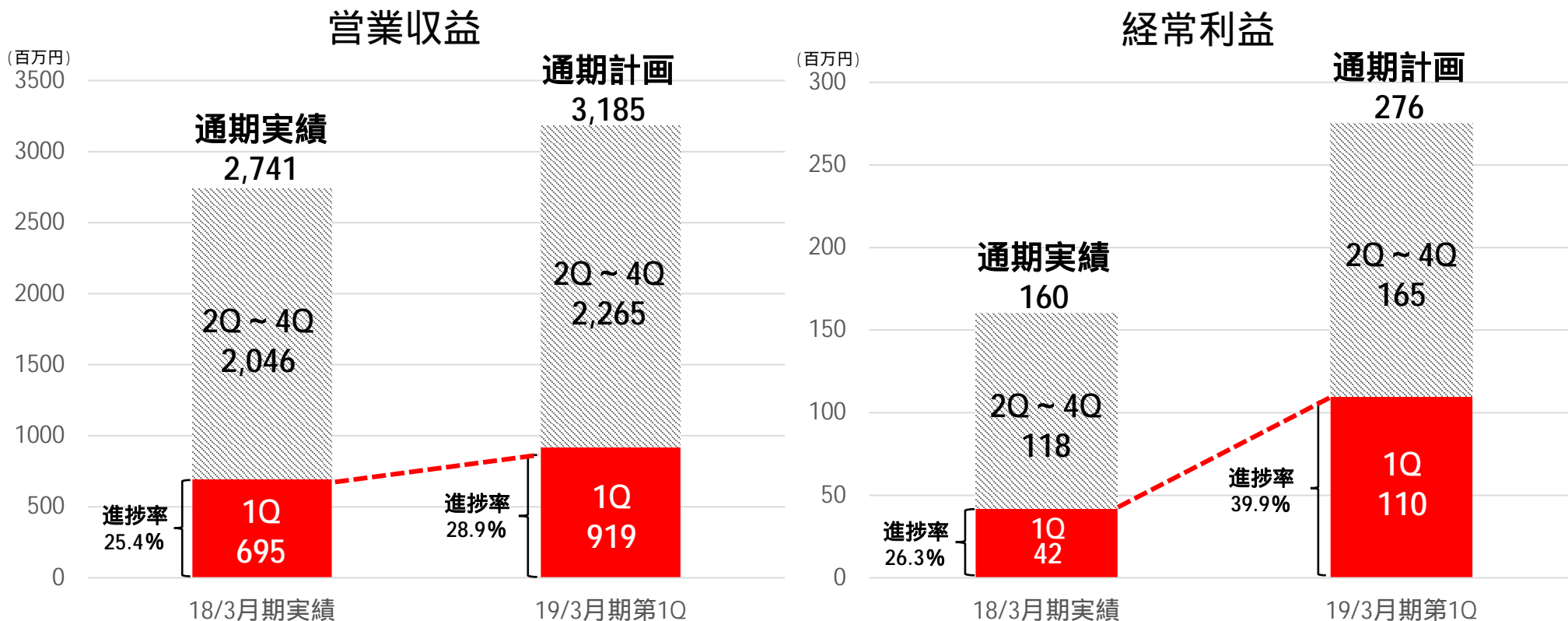
- ・ 自社保証商品による加盟店開拓が進み、取引先企業数が堅調に推移したことから、新規の保証申込件数が増加し、初回保証料売上が増加
- ・ 保証残高の成長に伴う月額保証料売上、更新保証料売上も引き続き堅調に増加推移
- ・ 新システムリリースにより減価償却費は増加
- ・ 一方で、人件費等の先行投資的費用はひと段落したことから、営業収益の伸びと比較して営業費用の伸びは低水準にて推移

2. 通期計画に対する進捗状況(1)



単位:百万円	18/3月期 (実績)	19/3月期 (通期計画)	19/3月期 (1Q実績)	19/3月期 (通期計画対比)
営業収益 (売上高)	2,741	3,185	919	28.9%
営業利益	89	240	94	39.6%
経常利益	160	276	110	39.9%
当期(四半期) 純利益	96	172	63	36.7%
1株当たり 四半期純利益	-	-	3.53円	-

2. 通期計画に対する進捗状況(2)

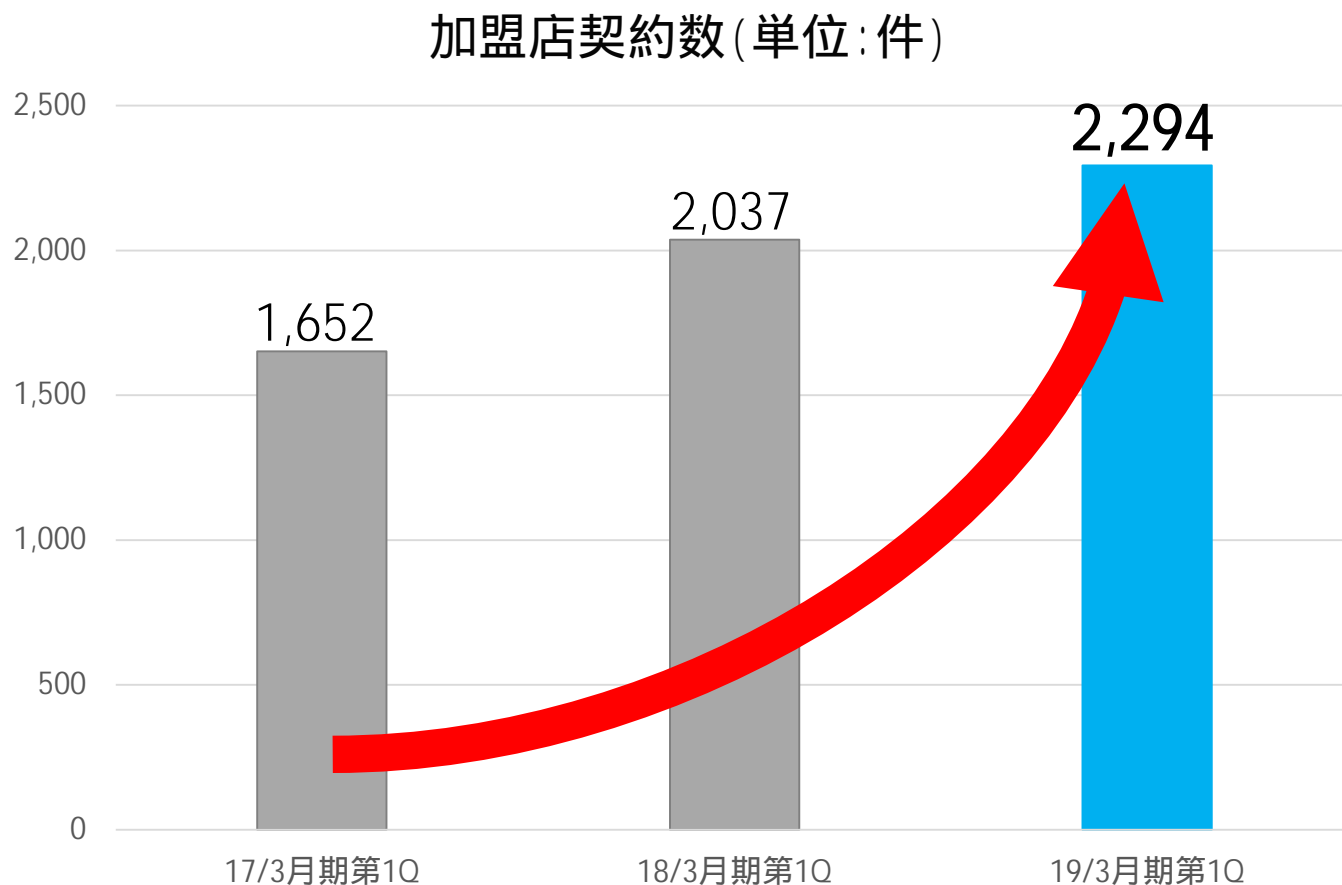


- ・当期第1Q時点の通期計画に対する営業収益の進捗率は28.9%、前年同期の進捗率25.4%を上回る水準で堅調に推移。
- ・当期第1Q時点の通期計画に対する経常利益の進捗率は39.9%、前年同期の進捗率26.3%を大きく上回る水準で推移。

3. 各種指標(1)-加盟店開拓の進捗-



・商品多様化戦略の推進、生活インフラを導線とした新たな開拓チャネルからの引き合い増加により、加盟店開拓は堅調に推移

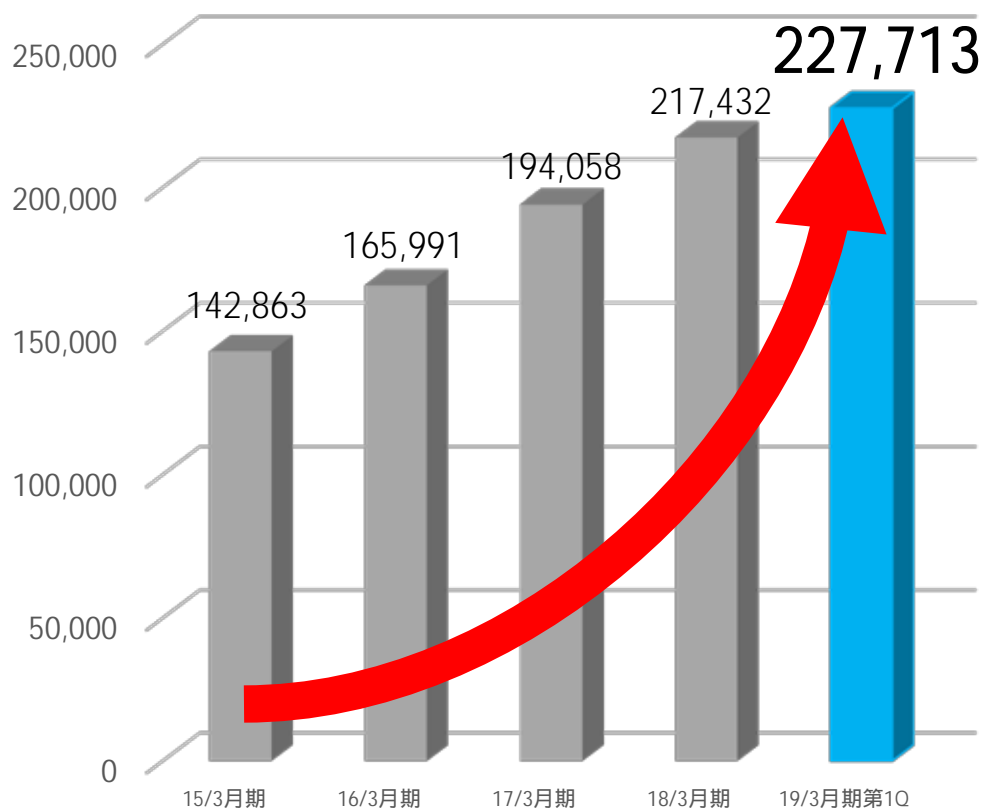


3. 各種指標(2)-保証件数・保証残高の推移-

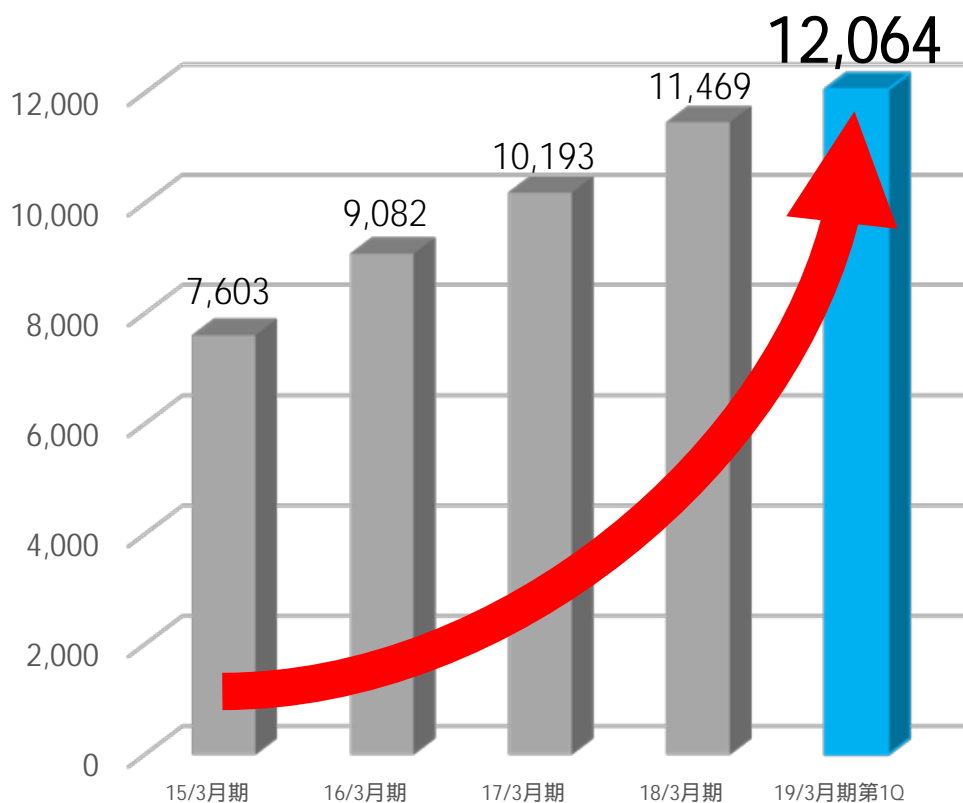


- ・あんしんプラスをはじめとする自社保証商品の拡販が進んだことで、保証会員数の伸びは引き続き堅調に推移
- ・2019/3月期第1四半期終了時点で保証会員数は22.7万件、保証残高は120億64百万円に到達

保証会員数(単位:件)



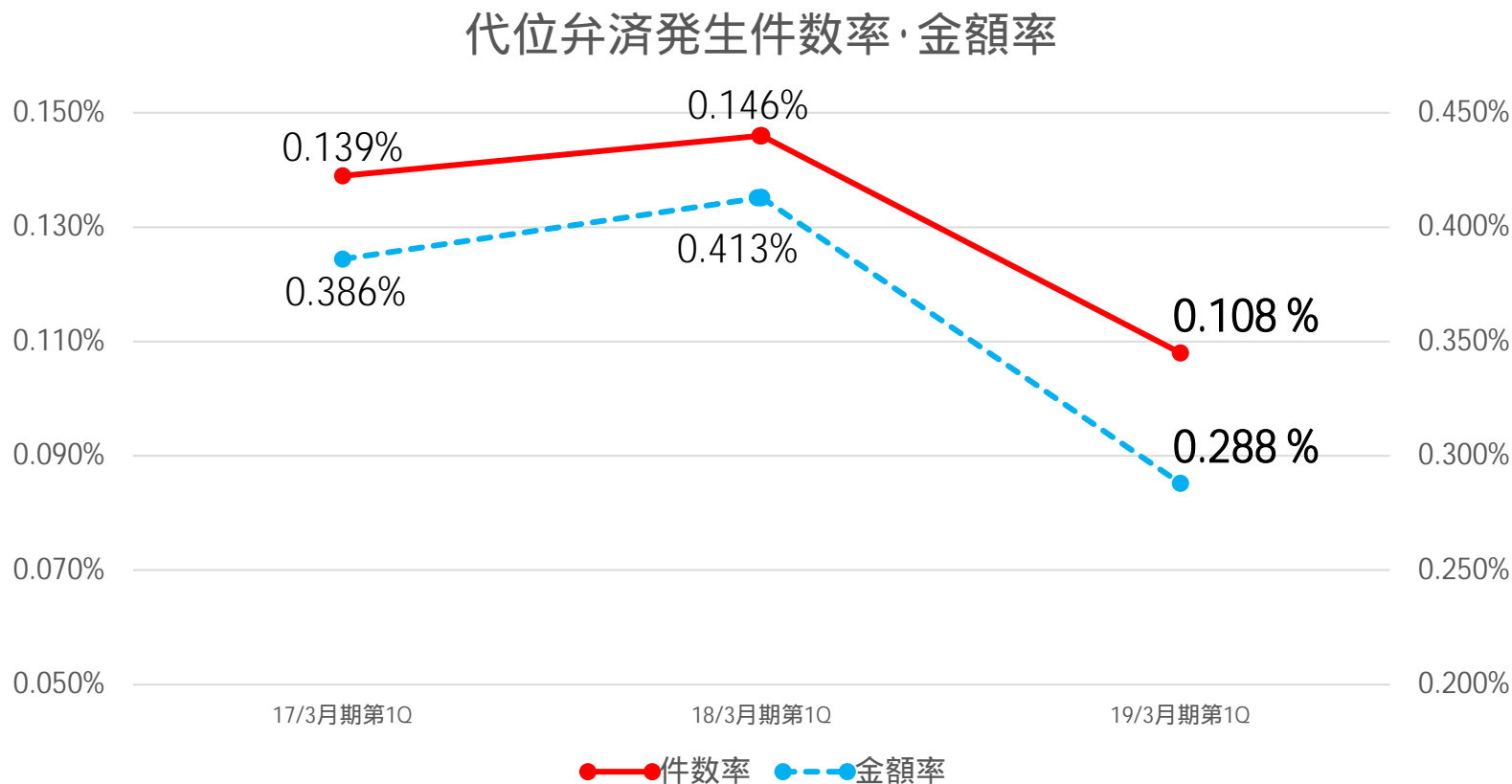
保証残高(単位:百万円)



3. 各種指標(3)-回収関連の推移-



・代位弁済発生率は件数、金額ともに良化傾向で求償債権発生抑制に寄与



求償債権残高の90%超(2019/3月期第1Q現在)を占めるライフあんしんプラスの回収指標

代位弁済発生件数率・金額率

ライフあんしんプラスの総保証件数・残高の内、一定期間の未収発生により、当社からライフカードへ代位弁済を行なった件数・金額の発生率(代位弁済を行うことで当社の求償債権として計上されます)



2019年3月期重点施策

トップライン成長率の向上
に向けた成長戦略の
再構築

求償債権の低位
安定化に向けた
各種施策の推進

人財の更なる能力開発の
促進による早期戦力化

コンプライアンス体制の
再構築



第1四半期までの取り組み状況

トップライン成長率
の向上に向けた
成長戦略の
再構築

- ・生活インフラを導線とした新規開拓チャネルの確保
- ・市場動向の調査による新サービスの導入検討
- ・ロゴマーク、ドメイン変更を始めとしたCI開発

求償債権の低位
安定化に向けた
各種施策の推進

- ・初期延滞から長期滞納までを一元管理するための組織再編の実施
- ・回収システムの活用、および弁護士との連携による業務効率・効果性向上施策の推進



第1四半期までの取り組み状況

人財の更なる能力
開発の促進による
早期戦力化

- ・管理職研修の推進による人財育成能力の向上
- ・実務に即した新入社員向けOJT教育の導入
- ・所属部署に応じたスキル向上勉強会の実施

コンプライアンス
体制の再構築

- ・個人情報保護マネジメントシステムの体制確立
(プライバシーマークの取得)
- ・インサイダー取引防止規定、マニュアルの改定
- ・重要情報管理体制の強化
- ・インサイダー取引防止勉強会の定期実施

決算説明資料に関する注意事項

本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的とし、
当社の今後の見通しや計画等の記述がなされております。
現状で入手できる情報に基づき作成しておりますので、
本資料で記述していることが経済状況等により、
異なる結果に至る可能性を含んでおります。

また、本資料で記載されている当社以外の情報は、
公開されている内容から引用したものであり、
その正確性について当社が保証するものではありません。